

鋼 船 規 則 検 査 要 領

D 編 機 関

鋼船規則検査要領 D 編

2013 年 第 1 回 一部改正

2013 年 5 月 30 日 達 第 23 号

2013 年 2 月 4 日 技術委員会 審議

2013 年 5 月 30 日 達 第 23 号
鋼船規則検査要領の一部を改正する達

「鋼船規則検査要領」の一部を次のように改正する。

D 編 機関

D13 管艙装

D13.9 燃料油管装置

D13.9.6 を次のように改める。

D13.9.6 ディーゼル機関の燃料油装置

-1. 低硫黄燃料油に切替えてディーゼル機関の運転を行う場合は次のいずれかを満足すること。なお、本項でいう「低硫黄燃料油」とは硫黄濃度 0.1%以下、粘度が 2cSt 以上の燃料油を目安とする。

- (1) 規則 D 編 13.9.6-1.(1)により設置される各々の燃料油供給ポンプが、低硫黄燃料油の使用にも適しており、通常航海に支障をきたさない油量の低硫黄燃料油を供給できること。
- (2) 規則 D 編 13.9.6-1.(1)により設置される燃料油供給ポンプが、低硫黄燃料油の使用に適しているが、1 台のポンプでは通常航海に支障をきたさない油量の低硫黄燃料油を供給することができず、2 台の並列運転が必要となる場合は、規則 D 編 13.9.6-1.(1)により設置される燃料油供給ポンプに加え、当該ポンプのいずれかのポンプと並列運転をした際に通常航海に支障をきたさない油量の低硫黄燃料油を供給できる燃料油供給ポンプを少なくとも 1 台備えること。
- (3) 規則 D 編 13.9.6-1.(1)により設置される燃料油供給ポンプに加え、通常航海に支障をきたさない油量の低硫黄燃料油を供給できる燃料油供給ポンプを 2 台備えること。

-2. 規則 D 編 13.9.6-4.(2)にいう掃除中でもこした油をディーゼル機関に供給できるこし器としては、1 個の逆洗式こし器も認められる。

-3. 規則 D 編 13.9.6-5.にいう「低質油」とは JIS K 2205「重油」に定める 3 種（C 重油）又はこれと同等以下の重油を目安とする。

D13.9.7 を次のように改める。

D13.9.7 ボイラの噴燃装置

-1. 低硫黄燃料油に切替えてボイラの運転を行う場合は次のいずれかを満足すること。なお、本項でいう「低硫黄燃料油」とは硫黄濃度 0.1%以下、粘度が 2cSt 以上の燃料油を目安とする。

- (1) 規則 D 編 13.9.7-1.(1)又は-2.(1)により設置される各々の噴燃ポンプが、低硫黄燃料油の使用にも適しており、通常航海に支障をきたさない油量の低硫黄燃料油を供給

できること。

- (2) 規則 D 編 13.9.7-1.(1)又は-2.(1)により設置される噴燃ポンプが、低硫黄燃料油の使用に適しているが、1 台のポンプでは通常航海に支障をきたさない油量の低硫黄燃料油を供給することができず、2 台の並列運転が必要となる場合は、規則 D 編 13.9.7-1.(1)又は-2.(1)により設置される噴燃ポンプに加え、当該ポンプのいずれかのポンプと並列運転をした際に通常航海に支障をきたさない油量の低硫黄燃料油を供給できる噴燃ポンプを少なくとも 1 台備えること。

- (3) 規則 D 編 13.9.7-1.(1)又は-2.(1)により設置される噴燃ポンプに加え、通常航海に支障をきたさない油量の低硫黄燃料油を供給できる噴燃ポンプを 2 台備えること。

-2. 規則 D 編 13.9.7-2.(1)で噴燃装置が 2 組要求される補助ボイラであっても、主機の運転に必要な燃料油加熱及び常時加熱を必要とする貨物の加熱にのみ用いられる場合には、同規定に定める代替の設備が設けられていなくても、短時間で交換できる噴燃ポンプの完体予備を 1 台備えれば噴燃装置は 1 組とすることができる。

附 則

1. この達は、2013年7月1日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。

* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。

IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)

英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。

オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。

3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

1. 本 PR は、2009年7月1日から適用する。